

四つのテスト 現行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

◆司会 尾本久男SAA委員長

◆四つのテスト 古里安幸会員

◆ご来訪ロータリアン

◆会長挨拶

柳龍一郎会長



みなさん、こんにちは。お盆を挟んで2週間ぶりの例会となりました。色んな事があったかと思いますが、先週の月曜日は太平洋戦争の終戦記念日でありました。又ニュースによりますと、明日24日でロシアによるウクライナ侵攻が半年になります。半年前、このニュースに触れた時、私は「現代にこんな事が起こるのか」と、怒りや悲しみや喪失感といった強い衝撃を受けました。しかしながら半年経った今、私の一番の興味は本日の長崎のコロナ感染者数であり、如何に麻痺しているか自覚すら無く、恥ずかしい限りです。情報に頼るしかない私にとって、戦争は身近な事として捉える事ができるのでしょうか。そう言えば両親から聞いた話があります。母は当時鹿児島市の中心部に住んでおりましたが、空襲で焼け出されたそうです。終戦間際、機銃掃射を受けながら逃げた事もあったと聞きました。布団を頭から被り、妹と逃げる背後から戦闘機からの機銃掃射が。被った布団の裾に弾が命中し、プスッ、プスッと音がしたと聞きました。作家の開高健、指揮者の小澤征爾、女優の岸恵子らも機銃掃射を受けた経験があり、低空飛行ゆえ搭乗員が笑っているのが見えたと言っています。さて父も鹿児島でしたが、田舎であった為空襲など無く、農家でもありひもじい思いは無かった様です。ただ軍馬として、飼っていた馬を差し出さなければならなかったそうです。当時、農家にとって牛馬は労力として貴重な存在であり、その代わり屋根を一つにして大切にしていました。そこまで聞いて私は、ああ可哀想にその馬はきっと戦場で死んでしまったに違いないと思ったのです。が、父曰く「帰ってきたさね」。戦後、馬を返すと連絡があり、家族一同玄関前で待っていると、その一本道の遠く

先から手綱に引かれてゆっくりと帰って来たそうです。そして家族に気づくと、ちゃんと覚えていたのか大きく喜ぶ仕草をしたそうです。(どんな仕草だったか聞いとけばよかった)位の高い人が乗っていたと、父は自慢しておりました。調べると多くの馬が最前線に送られ、帰還できた馬は少なかったとか。言葉を話す事のできない彼らは戦地で何を見たのか、それは当然知る余地もありません。一枚の写真があります。昭和40年代初め、鹿児島の実家でまだ馬を飼っていた時代。馬の背に乗せられた私の小さな弟を、親・親戚一同が笑って眺めている写真。そう確かにあの時は平和で幸せでした。

さて本日は、ガバナー補佐訪問クラブ協議会リハーサルです。本番に向けてチェックができればと思います。それでは今日も宜しくお願い致します。

◆幹事報告

山田孝二幹事

例会休会のお知らせ

福江中央RC8/23 長崎北東RC8/24 長崎みなとRC8/30
コロナウイルス感染拡大予防の為休会

◆結婚・誕生・入会祝い 8/21~8/27

【結婚祝】久田松春樹さん

【誕生祝】島崎義忠さん

山田孝二さん



◆委員会報告

■山田孝二幹事 8/20(土)公共イメージ委員長セミナーが大村において開催され、公共イメージP日高担当理事の代理で、出席してまいりました。内容は各クラブで行われる奉仕活動をWEB上にアップするというものでした。今年度もこれから行われる奉仕活動をアップしていきたいと思ひます。



◆期首会員数 35名

◆入会者 1名

◆退会者 0名

◆現在 36名

◆8/23例会出席 20名

◆免除者出席 8名

◆欠席 16名

◆出席率 60.60%

◆クラブアッセンブリー

ガバナー補佐訪問クラブ協議会リハーサル



◆ピエル・ロチ

許斐義彦

明治18年(1885年)、ピエル・ロチは35歳のフランス海軍中尉の時、長崎に軍艦(デ・トリオンファント号)の修理の為、約3ヶ月間滞在した。長崎の女性“かね”17歳と、1ヶ月間20ドルの報酬で同棲した。ロチは海軍士官の傍ら文壇でも活躍し、長崎での同棲生活の体験や、長崎の風俗習慣をもとにした、ロチの代表作の一つである小説「お菊さん」を、1887年発表した。十人町の寓居から長崎の町が一望でき、夜景が素晴らしいと書いている。現在、十人町の寓居跡に碑が建ってる。諏訪神社の長崎公園にあった呑江(どんこう)茶屋にピエル・ロチは訪れていたの、ピエル・ロチの文学碑がたっている。

「まちなかガイドブックⅡ」長崎史談会・長崎市観光政策課より



◆マリア園毛布クリーニングの歴史

児童養護施設マリア園の毛布を、寒くなる前にクリーニングしてお渡ししている事業。元々三宅敏彦会員が個人で奉仕されていたが、1986年から当クラブも協力して活動するようになった。36年続く継続事業。



1989年10月搬出風景



近年は、コロナ禍の為少人数での活動が続いている



◆ニコニコ箱

■柳龍一郎さん 世の中がどうか平和でありますように。私の家では、私の人格が保障されますように。

■島崎義忠さん 戦前、戦中、戦後と多難な時代を多くの方に支えられ、今日まで元気に過ごしてまいりました。いつの日も皆様に感謝しながら、残り少ない人生を、楽しく老春を謳歌したいと思っております。西クラブの皆様、宜敷く。

■島田靖彦さん 海星高校選手の皆さん、素晴らしい感動をありがとう!!

■安永勝信さん 海星高校の頑張りにニコニコ。

■吉田良尚さん 皆様、残暑お見舞い申し上げます。それにしても今年は暑い!と感じるのは私だけでしょうか?海星高校野球部の健闘に拍手を送ります。

■嶽本幸次さん 久しぶりの例会出席です。

■山田孝二さん 誕生祝ありがとうございます。

■志賀博光さん ニコニコのために。

ニコニコ箱	目標 1,200,000円	8/23	31,000円	累計	164,538円
ロータリー財団寄付	目標 1人150ドル/年間	8/23	8,000円	累計	44,000円
米山記念奨学寄付	目標 1人16,000円/年間	8/23	17,000円	累計	34,000円

◆会長 柳 龍一郎 幹事 山田孝二 ◆創立：昭和 59 年 10 月 2 日 ◆事務局住所：長崎市東古川町 4 - 16 フジビル 202
 ◆事務局連絡先：Tel:095-828-1091 Fax:095-824-5520 ◆e-mail:nwrc2740@ngs2.cncm.ne.jp
 ◆例会：【火】12時30分～13時30分 ◆例会場：ホテルニュー長崎 Tel:095-826-8000
 ◆作成：公共イメージプロジェクト委員会/クラブ会報委員会 ◆委員長：山崎雅之 ◆編集：事務局 中田久美子